



6月議会 一般質問

6月議会の一般質問で主張したかった事を要約したいと思います。
 実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



区について



【区の問題点】

件数減少・高齢化・役員の成り手不足・未加入世帯との不公平感

【区が負担している費用】

社会福祉協議会費 日本赤十字社費 赤い羽根募金 歳末助け合い募金
 防犯灯電気代 消防団協力費 神社分担金 など

【提 案】

- (1)合併のガイドラインはできないか？→アドバイスや事務的なサポートは可能
- (2)防犯灯の電気代は市で負担できないか？→無理
- (3)各種会費を目安より減額してもよいか？→任意なので・・・
- (4)区への補助金や支援金を増やせないか？→区長会などで意見を伺う

☆思う事☆

- ・もし合併の機運が高まってきた時は行政やお近くの議員にご相談ください。
 前例がありませんので、ケースごとに考えていくことが必要になります。
- ・区の財政が厳しい場合には現状では各種寄付金などを減額して納めるくらいしか方法がありません。各区で相談して継続可能な運営をお願いします。



消防組織体制について

【現状】

消防職員の条例定数・・・120名（3月議会で減らされました）
 本署40名 海上分署18名 飯岡分署18名 干潟分署18名
 3部制なので一日の人員は本署は13名～14名 分署は6名
 病気休暇者、消防学校入校者、育児休暇者などがいるため実際は本署11名、
 分署5名勤務になっている場合がある。5名勤務ですと救急車3名、消防車2
 名での出勤になる事態もあるので足りていないとは言えない。

☆思う事☆

- ・条例定数を決める時はもっと現場の声を聞いて欲しい！！
- ・公務員の削減が必要な場合でも命がかかっている現場の人数は慎重に！！

教員不足について



【問題】

ある学校で教員が産休になる→代わりの先生が一年間来ない

【現状】

全国的に教員不足。臨時職員もなかなか手配できないほどギリギリの状態。

【理由】

教員には残業手当が支給されません。その代わりに月給の4%に相当する額が基本給に上乘せされます。この制度が『定額働かせ放題』となり教員の長時間勤務の原因になっています。このようなブラックな環境もあって教員を目指す人が減っています。

☆思う事☆

- ・定額働かせ放題をやめろ！教員の定数を増やせ！日本はもっと教育にお金をかけろ！！
 これは教師の待遇改善の話ではありません。教育現場が崩壊の危機にあるのです。皆さんにも現状を知っていただき声を上げて頂きたいです。

漁港エリアの有効活用について

【現状】

漁港とみなと公園の周辺に未利用の県有地が沢山ある。ゴミが散乱していて年々ひどくなっている。廃船が放置され網や浮きも散乱している。みなと公園は市が管理していて綺麗に保たれている。



☆思う事☆

- ・使う予定のない船や網は所有者に処理をお願いしたい。県、市、漁協、民間が協力して漁港エリアを綺麗にするために何が出来るかを考えていく。
- ・県有地を有効活用するために旭市選出の県議会議員を中心に話し合いをしていきたい。観光客に「今まで見た中で一番汚い港」と酷評されてしまった。これから協力して「旭市で一番の観光スポット」に変えていきたい。

議員の仕事

『市議会議員って何をしているの』と聞かれる事が多いので一部を紹介したいと思います。

①議案審議

市長を中心とした行政が「予算」や「議案」を提案してきます。それを審議して賛成、反対を示します。行政に質問したり自ら調査する事もあります。

②一般質問

3月、6月、9月、12月に定例議会があります。その中で各議員は一般質問をすることが出来ます。市に関わる事全般に対して自由に質問できます。各議員の持ち時間は40分です。この報告書の表面が一般質問の概要になります。各議員がいろいろな質問をしていますので興味がある方は『旭市 録画』で検索をしていただき『議員名で選ぶ』のページからお選び下さい。

③市民の声を行政に届ける

本来は議員がやるべきではないと思います。市民から市役所に連絡した場合と議員から連絡した場合で違いがある事がおかしいと思うからです。行政には『出来る事はやる』『出来ないことは出来ない』としっかりとラインを引いて欲しいです。区長がお願いしたら出来ないと言われたのに、力がある議員やしつこい議員がお願いすると可能になる場合があります。これをやられると議員の立場からするとしつこくお願いせざるを得なくなります。「永井に頼んでも出来なかったけど〇〇議員にお願いしたら出来た」となってしまいうからです。こうならないように判断は一律にして欲しいです。

④発信する

この活動報告もそうですが議会でも何をやっているのかをお知らせすることも大事です。最近では活動報告書やSNSでの発信も増えてきましたので良い傾向だと思います。

※ここからは議員活動ではないですが、自分の活動をアピールしちやいたいと思います。

- ・「ミスあさひ委員」としてコンテストから運営に携わっています。
- ・「YOU遊フェスティバル委員」として企画、運営に関わらせて頂きました。
- ・「七夕企画委員」として企画、運営に関わらせて頂きました。
- ・「ビーチバレー大会」に協力しました。
- ・「あさひの芸術祭実行委員」として次のイベントを企画しています。
- ・「竜王まつり実行委員」として来年5月のイベントを企画しています。
- ・「おっぺし隊」として旭市にロケを誘致して知名度アップに取り組んでいます。
- ・「ぼるぼる」の委員として海を身近に感じてもらう活動をしています。
- ・「熊野神社神幸祭」三川地区の力になれるように頑張ります。
- ・「大和會会長」として各地のお祭りに参加、子どもに郷土芸能の継承をしています。
- ・「PTA相談役」として現役員の邪魔をしています。
- ・「消防団員」として地域の安心、安全のために活動しています。
- ・「永井岡区会計」として地区の雑用をこなしています。

◎このような活動をしながら行政と民間の懸け橋になれるように頑張ります。

市民の声

『警察の仕事』

8月6日、7日に七夕市民まつりがありました。交通規制が18時～22時になっていたのですが、急に変更がありました。17時30分から規制が始まったり、22時前に規制が解除されたりしたのです。当初の予定で計画をしていた人達からクレームを頂きました。警察からしたら安全のための措置だったかも知れませんが、市民は計画を直前に変える姿が横暴に感じると思います。計画段階でも「警察の指導に従わなければ来年はやらせないよ」というような発言があったと聞きました。今の警察は市民から嫌われています。こんなに一生懸命、市民のために働いて頂いているのにもったいないと思います。「市民に嫌悪される警察」ではなく、もう少しだけ市民に寄り添って頂き「市民に感謝される警察」になって欲しいと願っております。

『金婚式の影で』

先日、90代の女性からお電話を頂きました。「公報に金婚式を祝う記事が出ているけど、夫を早くに亡くし、女手一つで頑張ってきた人達には何も無いのですか？」という声でした。確かに50年連れ添った人をお祝いする事は素晴らしいと思います。しかし、配偶者と死別した方への配慮もあった方が良くないかと思いました。市の行事でやるのは難しいかも知れませんが、そういった苦勞を乗り越えた皆様にも心から敬意を表したいと思います。

『漁業実習生がボランティア』

7月2日 漁業の実習生70人が近隣住民と一緒に草刈りをしてくれました。主にインドネシアから来日した若者で一生懸命に取り組んでくれました。日本語も上手で笑顔が素敵な好青年です。今後も交流を深めていきたいと思っています。ありがとうございました。



この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせは遠慮下さい。

警察に関する記述ですが、市民の声を元に私が個人的に書きました。市や実行委員会はまったく関係ありません。事実誤認がございましたら直接 永井までよろしくお願い致します。

体重が10キロ増えた
旭市の食材が美味しいせいだ☆

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp

令和5年8月 第8号

